

令和7年度小松市立国府小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<児童が安心できる学級づくり，学校づくりの推進>		
	・「やかたシート」を活用し，学級目標の設定とふり返りを継続的に行い，年間を通して学級目標に迫る。 ・たてわり遊び等の異学年交流を通して高学年のリーダー性を育むと共に，より良い活動をするために考え工夫できる機会とする。 ・企画運営委員会を中心に，自分達で学校をよくしようという思いを全校で共有し，仲間のよさを認め合う場を設ける。		
特別支援教育	<支援を必要とする児童に対して組織的な支援を図る>		
	・各学期1回（6月，10月，2月）に特別支援教育校内支援委員会全体会を行い，実態把握・指導支援についての検討及び支援の充実を図る。 ・個別の教育支援計画を作成しなければならない児童には，担任が保護者と懇談の機会を持ち，作成する。（1学期前半）また，2学期末以降，年度内に次年度の目標について再び保護者と担任とで話し合い，方向性を決めておき，次年度に申し送る。 ・外部機関とも連携を取り支援を検討する。		
道徳教育	<発達段階に応じた道徳教育を推進する>		
	・カリキュラムマップをもとに，発達段階を考慮して，重点目標と各教科，特別活動を関連させて道徳教育を行う。 ・授業公開や道徳ファミリートークの機会を設定し，家庭・地域との連携を図る。		
読書教育	<読書の質的な向上を図る>		
	・図書担当と図書館司書が連携を図り，多読者表彰（年度末），図書委員主催の取り組みを行い，読書の質的向上を図る。 ・「本のとびら」「この本読もう」を活用し，読書の質を上げる。		
保健健康教育	<心身の健康や運動に関心をもち，健康への意識向上を図る>		
	・保健指導や保健委員会の活動を通して，規則正しい生活習慣の実践と健康な体づくりに取り組む。 ・学校保健委員会を通して育友会と連携し，親子が心身の健康についてともに学ぶ機会を作る。 ・持久走記録会を中心に，「持久力アップ大作戦」として年間を通して運動する機会を作り，体力の向上を図る。		
情報教育	<ICTの効果的な活用を図る>		
	・教師は「GIGA校内研修年間計画」に基づき，授業のねらいに応じたICT活用を効果的にデザインできるよう，授業実践交流や校内研修を継続し，専門性を高める。また，個別最適な学びを促すICT活用を授業に取り入れる。 ・児童は学習目標達成のため，ICTを活用して主体的に学びを選択し，協働的な学びを深める。また，学習課題に応じたICT活用を自分で判断し，自己調整的な学びを充実させる。		
家庭・地域との連携	<家庭・地域の力を生かした教育活動の推進>		
	・家庭や地域の力を生かした活動を教育課程に位置づける。 ・学習目標を明確にし，地域の自然や文化について学ぶ機会を設ける。		

学校関係者評価	
---------	--